

平成30年度北海道大学法学部

第3年次編入学試験「専門科目試験問題紙」

14:50～16:50

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は2ページです。(表紙を除く)
3. 解答用紙は両面2枚です。
4. 受験番号(上下2箇所)は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1

問 1、問 2 について、それぞれ答えなさい。

問 1 (配点：20 点)

A 所有の土地甲は A 名義の所有権登記がされていたが、B は偽造書類を用いてこの登記を自己名義のものとする移転登記をした。A はこのことを熟知していたが、B に抗議することなく、数年経過した後に、B は土地甲を善意の C に売却し、C は移転登記を了した。A は、C に対して、B → C の移転登記の抹消を請求しうるか。

問 2 (配点：30 点)

営利法人の目的の範囲による権利能力の制限について説明しなさい。

問題 2

下記の①～⑤から 3つ を選び、それぞれについて 10 行前後で簡潔に説明しなさい。

(配点：概ね各 17 点×3=50 点)

- ① 「共有地の悲劇」の具体例とその発生メカニズム、対処方法
- ② 福祉国家化が進んできた要因とその後の「揺らぎ」について
- ③ 中央・地方関係の理論に基づく我が国の地方分権改革の評価
- ④ ロバート・ダールのポリアーキー論の内容とその現代的意義
- ⑤ 我が国の議院内閣制の運用状況と「首相公選論」との関係